

登録コード	T9005230	開講年度	2026				
授業科目	建築・デザイン概論(電情)(16T以降)					担当教員	羽藤 広輔 他
英文授業名	Introduction to Architecture and Design					副担当	松田 昌洋・中谷 岳史・遠藤 洋平・佐倉 弘祐
単位数	1	講義期間	後期(随時)	曜日・時限	月曜・6時限		対象学生
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	該当 備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ						
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。					⇔	建築・デザインに関する基礎的な知識が理解できている。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	建築の歴史意匠・計画、環境・設備、構造・防災の各分野とデザインの関係を学びつつ、これらを総合することで工学とデザインの関係についての理解を深める。						
(5)授業計画	建築・デザインに関する次の8つのテーマを順に講義する。 第1回：暮らしと建築デザイン 第2回：建築の構造デザイン 第3回：建築のデザイン史 第4回：家具と建築デザイン 第5回：気候変動と建築デザイン 第6回：建築の環境デザイン 第7回：地震と建築デザイン 第8回：まとめー工学におけるデザインのこれから						
(6)成績評価の方法	各回に出題するレポート課題の点数を総合し、基本的内容を理解したと認められる者について単位を認定する。						
(7)成績評価の基準	レポート課題で評価する。基本的に90-100点を秀、80-89点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。 各テーマの基本内容を理解していれば「水準にある」(可)、やや広く理解していれば「やや上にある」(良)、広く理解していれば「かなり上にある」(優)、全てのテーマにわたり理解していれば「卓越している」(秀)とする。						
(8)事前事後学習の内容							
(9)履修上の注意	eALPS上の資料をよく確認してください。						
(10)質問,相談への対応	メールにて受け付ける。 アドレスはkhato@shinshu-u.ac.jp(羽藤)						
(11)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	・ 柏木博・松葉一清：デザイン／近代建築史、鹿島出版会(2,500円＋税) ・ 斎藤公男：新しい建築のみかた、エクスナレッジ(2,400円＋税)						